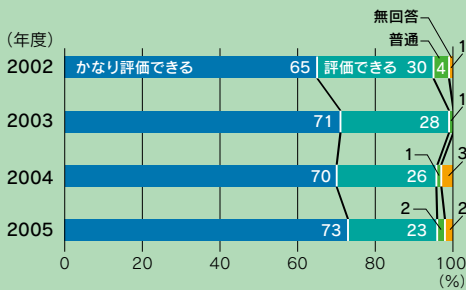


アンケートにご回答いただいた皆様のご意見を活動や報告書の改善につなげています。

アンケート結果

2006年4月末現在、日本語版17,695部の発行実績に対して、180件の回答をいただきました。主な内容は以下の通りです。

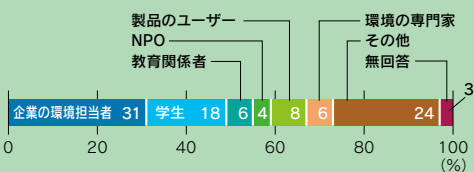
① リコーグループの活動内容についてどう評価されましたか？



② この報告書でとくに興味をもたれたページがごありますか？

- 1位 環境会計
- 1位 製品に関する取り組み(全般)
- 3位 事業所に関する取り組み(全般)
- 4位 世界一の環境経営を目指して
- 4位 エコバランス(環境負荷の把握と目標設定)
- 6位 FOCUS
- 7位 環境経営の基盤
- 8位 環境行動計画

③ この報告書をどのような立場でお読みになられていますか？



2005年版に対するご意見の一部と2006年版での対応

○リコーグループに特徴的なこと、とくに効果があることなどが、報告書からわかるようになるというかなと思いました。

▶ 巻頭特集「環境経営の現場から」を新たに設けました。特徴的な3つの事例を紹介しています。 [7ページ](#)

○新たな法規制などが強化されるとともに物づくりに不可欠となる、化学物質対策の取り組みやSCMでの環境改善の取り組みなどを知りたい。

▶ 欧州RoHS指令などの規制にグローバルに対応するため、「製品含有化学物質マネジメントシステム」の構築について FOCUSとして取り上げています。 [33ページ](#)

○再生機販売ビジネスの状況を知りたい。今後どのように増やしていくつもりなのか。

▶ 日本における再生複写機販売についてお客様の声を交えて解説しました。 [28ページ](#)
また、特集「アメリカでのグリーン販売」と「米州極における再生機ビジネス」を掲載しました。 [11、29ページ](#)

○事務所のペーパーレス取り組み事例について紹介して欲しい。

▶ 特集「ライブオフィスの展開」を掲載しました。 [7ページ](#)

○リコーの環境保全事業の取り組みは多彩だが、その土地に住む生き物の保全に焦点が当てられていないように思われる。生物多様性保全の取り組みを紹介してほしい。

▶ リコーグループとパートナーシップを組む環境NPOの方に、ともに進めている生態系保全の取り組みについてお話しいただきました。 [69ページ](#)

○「京都議定書」で定められた目標値達成に向けた、リコーの取り組みについて理解することができた。